慶應義塾大学グローバルセキュリティ研究所

第18回安全安心サイエンス「感染症・バイオテロ研究会」

2009年研究会テーマ

「異常な感染症の発生を知る」

迅速な対応開始による被害軽減のためのState of the Art

コーディネーター：齋藤 智也
慶應義塾大学医学部熱帯医学寄生虫学

「臨床現場で気づくとき」

コンセプト

バイオテロや新型の感染症といった”異常な感染症”を最初に察知するのは臨床医であり、医療機関である。しかしながら、感染症の診断は簡易キット一つで終わるような容易なプロセスではなく、適切な診断推論過程と病原体検査を経て初めて得られるものである。本研究会では、日夜感染症臨床に携わる先生を二名お招きし、臨床現場における感染症診断の思考プロセスと異常察知への過程をご解説頂く。感染症診療の難しさと現場の課題を理解し、そして現場からの提言を元に、社会として「異常な感染症の発生に気づく」仕組みのあり方を討論する。

プログラム

「感染症臨床の視点から」
静岡県立静岡がんセンター
感染症科部長
大曲　貴夫　氏

「臨床検査・感染制御の視点から」
東北大学大学院医学系研究科
内科病態学講座
感染制御・検査診断学 教授
賀来　満夫　氏

総合討論

開催場所：慶應義塾大学三田キャンパス
東館6階　G-SEC Lab

開催日時：2009年8月22日(土)
14:00～18:00
受付開始13:30～

当日連絡先：０３−５４２７−１２９３
（１２：００～１３：３０）

申　込　方　法： 参加を希望される方は下記のアドレスからお申込ください。「事前参加登録制」です。
席に限りがございますので、定員に達し次第締め切らせていただきます。
尚、お送りいただいた情報はプロジェクト内で管理しております。

事前申し込み： http://biopreparedness.jp/

申　込　締　切： 2009年8月19日 水曜日

本研究会は、平成21年度文部科学省安全・安心科学技術プロジェクト
「テロ等への医学的見地からの公衆衛生措置や医療的対策に関する調査研究
（研究統括：慶應義塾大学グローバルセキュリティ研究所　副所長・上席研究員　竹内　勤）」
により実施しています。

慶應義塾大学グローバルセキュリティ研究所
安全・安心科学技術プロジェクト事務局
〒108-8345　港区三田2-15-45
TEL：03-5427-1293(内線23746)